

本校の専攻科入学者選抜試験を受検予定の方へ

本校では、令和4年度専攻科入学者選抜試験を実施するにあたり、試験会場における新型コロナウイルス感染拡大を防止し、受検生が安心して受検できる環境の確保に努めるため、感染拡大防止対策を徹底しております。本校の入学試験を受検する際は、以下の点についてご協力くださいますようお願い申し上げます。

1 自主検温

試験日の7日程度前から、朝などに体温測定を行うこととし、体調の変化の有無を確認してください。なお、地域により感染が拡大した場合は、試験日の2週間程度前から健康観察を行った上で、より一層行動に注意してください。

2 医療機関での受診

試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある受検生はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。

3 受検できない者

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方は受検できません。

なお、保健所から新型コロナウイルス感染症患者との濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている方のほか、過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した方は、無症状であれば、以下の(1)～(4)の要件を全て満たしている場合は受検が認められます。要件を一つでも満たさない場合は受検ができないので、追試験の受検を申請してください。

- (1) 初期スクリーニング（自治体によるPCR検査及び検疫所における抗原定量検査）の結果、陰性であること
- (2) 受検当日も無症状であること
- (3) 公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に行くこと
- (4) 終日、別室で受検すること

4 受検の取り止め

試験の前から継続して発熱・咳等の症状のある受検生は、高等専門学校等もしくは医療機関と相談の上、追試験の受検を検討してください。

5 試験当日における対応

受検票を返送する際に、試験当日の指示事項を記載した文書を同封いたします。試験当日に発熱・咳等の症状があるなど、体調が万全でない場合は、無理して受検せず、追試験の受検を申請してください。

また、試験当日に来校後、発熱・咳等の症状のある受検生の新型コロナウイルスの罹患が疑われると本校が判断できる場合は、受検を認めない可能性があります。その場合は、追試験のご案内をいたしますので、速やかに帰宅してください。

休憩時間や昼食時等における他者との接触、会話を極力控えてください。

6 マスクの着用

必ずマスクを持参し、検査場内では監督者の指示がある場合又は昼食時以外は、常にマスクを正しく着用してください。使用済みのマスクについては、試験場で廃棄せず、必ず自宅等に持ち帰ってください。なお、フェイスシールド又はマウスシールドの着用のみでは、受検を許可いたしません。

感覚過敏等によりマスクの着用が困難な場合は、事前に本校学生課教務係に申し出てください。

7 予防接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望ましいです。

8 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

9 試験終了後

試験終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症に罹患したことが判明した場合は、本校学生課教務係に申し出てください。

10 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード

「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」は、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができるものであり、その後の検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができることから、これを活用することが望ましいです。